

# 西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) カンセイガクインダイガク	フリガナ) ショウガクブ	フリガナ) ヤスダゼミ
関西学院大学	商学部	安田ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ) トティス	フリガナ) イナミリュウスケ	5人	無
TOTIS	稲見亮佑		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）
なし

研究テーマ（発表タイトル）
アサコちゃんとメッシーくんの朝食のススメ

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要（目的・狙いなど）

本プロジェクトは企業による朝食無料提供を促す提案である。

本プロジェクトの特徴は3つある。第1に、朝食摂取は家庭のしつけの問題ではなく、「生産性向上を目指す企業の人的資源管理の問題」ととらえて、解決策を提案することである。第2に、企業の目的は「朝食を提供する」という事にあるのではなく、「朝食摂取の習慣を根付かせて、継続的な生産性向上を図る」とこと指摘する点である。第3に、朝食摂取の習慣を根付かせる手段として、「ゲーミフィケーションの手法」を応用することである。

本プロジェクトが実現されれば、長年問題となっている「日本企業におけるホワイトカラーの生産性の低さ」を解決できると考える。1人1人の生産性が上がれば、働き方改革の3つの柱の1つである長時間労働の解消につながるであろう。

したがって、本プロジェクトの狙いは①「朝食摂取習慣の定着は、人手不足問題の解決につながる」と企業に認識してもらうこと、その手段として②「ゲーミフィケーションが有効である」と提案すること、同時に、③「社員が仲間と楽しみながら朝食を取れて、朝型勤務で残業が減らせるような、働きやすい職場環境を実現する」助けとなること、の3つである。

## 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

私たちは長時間労働が社会問題としてあるなかで、その解決策として働き方改革に着目した。政府が労働時間の上限の規制を強化するなど、社会的に残業を減らす風潮が高まっている。また、少子高齢化や人口減少に伴い、労働人口は年々減少傾向にある。これからの日本経済の成長のためには、働き手一人ひとりが仕事に対するやりがいや喜びを感じながら働く環境作りが必要である。

働きやすい環境づくりは、企業の人的資源管理上の課題である。なぜならば、社員が喜びを感じて集中して働くことは労働生産性の向上につながるため、企業の業績も上がるからである。

このことから、私たちは本プロジェクトにおいて、残業をなくすために朝型勤務を促進すべく、企業による朝食提供の提案を行う。厚生労働省の調査によると、「朝食の欠食率は男性で 15.4%、女性で 10.7%である。年齢階級別にみると、男女ともにその割合は 20 歳代で最も高く、それぞれ 37.4%、23.1%である。」という結果であった。それに対する企業の対策として現在、「伊藤忠商事」「マクロミル」などの幾つかの企業が、無料で朝食提供を行っている。

### 3. 研究テーマの課題

大塚製菓の調査によると、朝食を食べる人と食べない人を比較した場合、食べない人は疲労を感じやすく、集中力・作業能率が低い傾向にあるということがわかった。これにより、効率よく仕事を行うには朝食が必要であるということは明らかであるが、それでも 20～40 代の働く世代の朝食欠食率は高い。朝食の欠食は家庭の問題ではなく、企業で取り上げるべき問題である。企業が積極的に朝食を提供して、労働環境の改善とそれによる生産性の向上に取り組む必要がある。

つまり、企業は人的資源管理の一環として「社員への朝食提供」を行う必要がある。しかし、単に朝食を提供しただけでは、社員の眼には企業提供の“タダ飯”と写るため、「会社で朝食を食べるも食べないも自由」となってしまう恐れがある。それでは生産性の向上にはつながらず、企業はコストを負担するだけで終わってしまう。

こうした課題を解決するためには、「朝食摂取を継続させ、習慣化する手段」が必要である。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

以上の課題を解決するために、「朝食時間」という制度を導入する。この制度は企業側が無料で朝食を提供し、朝食を食べる時間も労働時間に含むというものである。

また、朝食摂取を習慣化させるために「ゲーミフィケーション」の手法を用い、『アサコちゃんとメッシーくん』という「朝食時間」を利用した回数に応じてキャラクターが成長するキャラクター育成ゲームのアプリを利用し、社員が長期的に楽しく朝食をとる仕組みを作る。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

大学生へのアンケート調査をし、同時に「アサコちゃんとメッシーくん」というアプリを考案した。

また、従業員に対して無料で朝食提供を行っている企業である「伊藤忠商事」と「マクロミル」社にインタビューを行った。伊藤忠商事からは利用者層や利用者の反応、非利用者の理由や利用を増やすための工夫について回答が得られた。マクロミル社からは利用者の感想や自分たちの提案についてのご意見、朝食を食べに来てもらう工夫などについての回答が得られた。

### 6. 結果や今後の取り組み

アンケートの結果より、「朝食時間制度」を利用する人が多いことがわかった。よって今後、企業に対する「朝食時間」の提案及び「アサコちゃんとメッシーくん」のアプリ開発を行い、その有用性の調査を行う。

### 7. 参考文献

・“平成 28 年「国民健康・栄養調査」の結果～体格及び生活習慣に関する状況は、依然として地域差あり～”  
厚生労働省（アクセス日:2017-9-22）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000177189.html>

・「朝型勤務へ残業 8 時まで、UQコム、会議 30 分以内、朝食無料、ベンチャー気質改善。」日経産業新聞 2017 年 1 月 18 日 大西綾

・「朝型勤務制度の導入」伊藤忠商事ホームページ（アクセス日:2017-11-2）

[https://www.itochu.co.jp/ja/csr/employee/safety/working\\_style/index.html](https://www.itochu.co.jp/ja/csr/employee/safety/working_style/index.html)

・「早朝勤務なぜ広がる 残業減のほか思わぬ経済効果も」日本経済新聞 2015 年 3 月 24 日 前田裕之

・「デキル人の栄養バランス」大塚製薬公式（アクセス日:2017-10-2）

[https://www.otsuka.co.jp/health\\_illness/dekiru/eikyou/](https://www.otsuka.co.jp/health_illness/dekiru/eikyou/)

・岡村健右（2012）『ゲームの力が会社を変える』日本実業出版社

・伊藤忠商事へのインタビュー（実施日 2017-12-5）

・マクロミル社へのインタビュー（実施日 2017-12-8）

#### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

---

↑ここまでを 4 ページ以内に収めて、提出してください↑